

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

第1 職業能力評価に係る基盤の整備・充実

事 項	実 施 状 況												
1 良質な技能検定試験 問題の作成と技能検定 制度の普及促進 ア 技能検定試験問題 等の作成	<p>検定職種（作業）ごとに中央技能検定委員会を開催し、現場における技術・技能の動向等を踏まえるとともに、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）の実施経費低減並びに受検者増を目指した良質な試験問題及びその実施要領を作成した。また、外国人に対する技能実習制度に係る職種（作業）について、試験問題等の作成を行った。</p> <table data-bbox="523 1512 1252 1691"> <tr> <td>(1) 等級別作業数</td> <td>668作業</td> <td>[658作業]</td> </tr> <tr> <td>(2) 作成学科試験問題数</td> <td>34,880題</td> <td>[32,910題]</td> </tr> <tr> <td>(3) 技能検定受検申請者総数</td> <td>204,488名</td> <td>[195,945名]</td> </tr> <tr> <td>(4) 合格者総数</td> <td>129,090名</td> <td>[123,246名]</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">注〔 〕内は平成27年度実績</p>	(1) 等級別作業数	668作業	[658作業]	(2) 作成学科試験問題数	34,880題	[32,910題]	(3) 技能検定受検申請者総数	204,488名	[195,945名]	(4) 合格者総数	129,090名	[123,246名]
(1) 等級別作業数	668作業	[658作業]											
(2) 作成学科試験問題数	34,880題	[32,910題]											
(3) 技能検定受検申請者総数	204,488名	[195,945名]											
(4) 合格者総数	129,090名	[123,246名]											
イ 制度の普及・促進	<p>技能検定3級について、平成28年度から鉄筋施工職種を新規に実施した。また、3級新規創設について検討した結果、平成29年度から型枠施工職種を新設するとともに、厚生労働省の「技能検定集中強化プロジェクト」の一環として、五軸マシニングセンタ等10職種について、職種・作業の新設に係る調査を実施した。</p> <p>さらに、技能検定受検申請者数の拡大に向けて、都道府県協会と連携</p>												

事 項	実 施 状 況
ウ 技能検定試験業務の指導	<p>し、ポスター、リーフレット等による広報活動、各種広告媒体の活用、ホームページの充実、関係団体を通じた受検勧奨等により、制度の一層の普及・促進を図った。</p> <p>技能検定の情報収集及び指導のため、中央技能検定委員及び当協会職員を実技試験会場等に派遣し、都道府県技能検定委員等から技能検定試験の課題内容等について意見を聴取するとともに、都道府県協会に対して、技能検定試験の実施について技術的な業務指導を行った。</p> <p>1. 機械・電気系職種（作業） 機械加工、プリント配線板製造、機械検査、電気機器組立て、電子機器組立て、建設機械整備、金型製作 （7職種9作業）</p> <p>2. 金属加工系職種（作業） 工場板金、鉄道車輛製造・整備、めっき、溶射、光学機器製造、金属プレス加工 （6職種6作業）</p> <p>3. 建設系職種（作業） 路面標示施工、とび （2職種2作業）</p>
エ 都道府県技能検定委員の研修の実施	<p>都道府県技能検定委員を対象に、資質の向上及び試験の公正な実施のため、次の職種・作業について研修を行った。</p> <p>石材施工（石張り作業） (1)開催日：平成28年 5月19日 (2)場 所：A P 西新宿（東京都） (3)出席者：都道府県技能検定委員、中央技能検定委員</p>
オ 各種会議の開催	<p>実技試験の採点基準等の調整による全国的水準の統一、技能検定試験の適正な実施のための各種情報の提供及び意見交換等を行うため、次の会議を実施した。</p> <p>1. 技能検定実技試験水準調整会議（1回） (1)開催日：平成28年11月 1日から2日 (2)場 所：中野サンプラザ（東京都） (3)出席者：都道府県協会職員、同技能検定委員、都道府県庁職員、中</p>

事 項	実 施 状 況																
<p>カ 技能士実態調査の実施</p> <p>2 CS、CADによるIT関連分野の能力評価制度の推進</p> <p>ア コンピュータサービス技能評価試験の実施</p>	<p>中央技能検定委員、厚生労働省職員</p> <p>2. 都道府県技能検定業務担当課長会議（2回）</p> <p>(1)開催日：前期 平成28年 5月13日 後期 平成28年11月 1日</p> <p>(2)場 所：前期 中野サンプラザ（東京都） 後期 中野サンプラザ（東京都）</p> <p>(3)出席者：都道府県協会職員、厚生労働省職員</p> <p>3. 技能検定実施職種に係る協力団体との情報交換会議（1回）</p> <p>開催日 平成29年3月10日</p> <p>場 所 AP西新宿</p> <p>出席者 建設関係団体（全国管工事業協同組合連合会等）、厚生労働省職員等</p> <p>技能検定試験に合格した技能士、技能士が所属する企業・団体を対象に、技能士に求められる技能・知識等に関する実態を調査し、今後の技能検定試験での評価すべき技能・知識に関する検討に資するため、（一社）全国技能士会連合会に委託して調査を実施した。</p> <p>調査対象：繊維・食品・工業・商業系関係職種 企業・団体及び個人 1,160件 有効回答 806件（69.5%） 調査期間：平成28年9月21日～11月18日</p> <p>1. コンピュータサービス技能評価試験の実施</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)受験申請者総数</td> <td>42,600名 [47,874名]</td> </tr> <tr> <td>・ワープロ部門</td> <td>21,499名 [24,387名]</td> </tr> <tr> <td>・表計算部門</td> <td>19,493名 [21,736名]</td> </tr> <tr> <td>・データベース部門</td> <td>955名 [1,096名]</td> </tr> <tr> <td>・オフィスドキュメント部門</td> <td>151名 [212名]</td> </tr> <tr> <td>・PCドライビング部門</td> <td>0名 [0名]</td> </tr> <tr> <td>・情報セキュリティ部門</td> <td>502名 [443名]</td> </tr> <tr> <td>(2)合格者総数</td> <td>36,400名 [41,064名]</td> </tr> </table> <p>2. コンピュータサービス技能評価試験の広報周知</p> <p>受験者に対し、次の広報周知を行った。</p>	(1)受験申請者総数	42,600名 [47,874名]	・ワープロ部門	21,499名 [24,387名]	・表計算部門	19,493名 [21,736名]	・データベース部門	955名 [1,096名]	・オフィスドキュメント部門	151名 [212名]	・PCドライビング部門	0名 [0名]	・情報セキュリティ部門	502名 [443名]	(2)合格者総数	36,400名 [41,064名]
(1)受験申請者総数	42,600名 [47,874名]																
・ワープロ部門	21,499名 [24,387名]																
・表計算部門	19,493名 [21,736名]																
・データベース部門	955名 [1,096名]																
・オフィスドキュメント部門	151名 [212名]																
・PCドライビング部門	0名 [0名]																
・情報セキュリティ部門	502名 [443名]																
(2)合格者総数	36,400名 [41,064名]																

事 項	実 施 状 況
<p>イ CADトレース技能審査の実施</p>	<p>(1)ポスター・パンフレットの印刷、配付 (2)ホームページによる情報提供 (3)各種会議での説明、受験勧奨</p> <p>3. コンピュータサービス技能評価試験の一部部門の廃止 コンピュータサービス技能評価試験の6部門のうち、データベース部門、オフィスドキュメント部門、PCドライビング部門の3部門については平成28年度をもって廃止した。</p> <p>1. CADトレース技能審査の実施 都道府県協会及び試験実施協力施設の協力のもとに、機械部門（上・中・初級）及び建築部門（上・中・初級）について、試験を実施した。</p> <p>(1)受験申請者総数 2,339名〔3,168名〕 ・機械部門 1,709名〔2,089名〕 ・建築部門 630名〔1,079名〕</p> <p>(2)合格者総数 1,100名〔1,584名〕 なお、合格者に対しては、中央協会会長及び都道府県協会会長の連名による合格証書を交付した。</p> <p>2. CADトレース技能審査の広報周知 受験者に対し、次の広報周知を行った。 (1)ポスター・パンフレットの印刷、配付 (2)ホームページによる情報提供 (3)各種会議での説明、受験勧奨</p> <p>3. CADトレース技能審査の廃止 CADトレース技能審査については、機械部門、建築部門ともに平成29年度をもって廃止することを決定している。</p>
<p>3 ビジネス・キャリア 検定試験の普及拡大 ア 効果的な普及広報 活動の推進</p>	<p>1. ビジネス・キャリア検定試験の実施 以下の普及広報活動等に取り組んだ結果、本試験の前身である委託事業時代も含めて制度創設（平成6年度）以来、過去最高の申請者数（対前年度比2,718名増、11%増）となった。 試験は、37都道府県協会の協力を得て、全国47都道府県において、8分野39試験区分（1級・2級・3級・BASIC級）を実施した。</p>

事 項	実 施 状 況
イ 学習環境の整備	<p>(1) 受験申請者数 28,320名〔25,602名〕</p> <p>(2) 合格者数 12,117名〔10,449名〕</p> <p>(3) 実施試験区分 8分野39試験区分</p> <p>(1級) 人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、経営情報システム</p> <p>(2級) 人事・人材開発、労務管理、経理、財務管理(財務管理・管理会計)、営業、マーケティング、生産管理プランニング(製品企画・設計管理)、生産管理プランニング(生産システム・生産計画〔加工型・組立型〕)、生産管理プランニング(生産システム・生産計画〔プロセス型〕)、生産管理オペレーション(作業・工程・設備管理)、生産管理オペレーション(購買・物流・在庫管理)、企業法務(組織法務)、企業法務(取引法務)、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム(情報化企画)、経営情報システム(情報化活用)、経営戦略</p> <p>(3級) 人事・人材開発、労務管理、経理(簿記・財務諸表)、経理(原価計算)、財務管理、営業、マーケティング、生産管理プランニング、生産管理オペレーション、企業法務、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム、経営戦略</p> <p>(BASIC級) 生産管理、ロジスティクス</p> <p>2. ビジネス・キャリア検定試験の普及広報活動</p> <p>対象を技能検定活用企業、物流企業、その他一般に分類し、対象毎にそれぞれ効果的と思われるアプローチ(都道府県協会を通じたリーフレットの配布、都道府県協会主催会議及び業界団体主催会議の場を活用した説明会の開催、業界紙及び一般紙への広告出稿、紹介動画や企業活用事例の掲載等によるホームページの充実他)を行った。</p> <p>これにより、ホームページビュー数は、対前年度比約15%増となった。</p> <p>1. 標準テキストの改訂</p> <p>社会経済や技術革新の動向、諸制度等の見直しが反映されたものとなるよう、概ね5年サイクルでの改訂計画を立て、11試験区分について改訂に着手した。</p> <p>(2級) 財務管理、営業、マーケティング、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション</p> <p>(3級) 経理(原価計算)、営業、マーケティング、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム</p>

事 項	実 施 状 況
<p>ウ 試験体系の整備</p> <p>4 包括的職業能力評価制度の整備と活用促進</p> <p>ア 業種別職業能力評価基準の開発</p> <p>イ キャリアマップ、職業能力評価シート、導入活用マニュアルの開発</p> <p>ウ 職業能力評価基準</p>	<p>2. 過去問題解説集の作成</p> <p>学習環境の一層の充実を図るため、以前から受験者や企業ニーズの高かった過去問題解説集について、3種の作成に着手した。</p> <p>(2・3級) 人事・人材開発、企業法務、総務</p> <p>1. 1級試験の再開</p> <p>本試験の最終到達を示す1級について、人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、経営情報システムの3分野において実施した。</p> <p>2. BASIC 級試験の実施等</p> <p>平成27年度に実施したロジスティクスに加え、生産管理において実施するとともに、標準テキストを発刊した。</p> <p>職業能力評価の基準・手法等の整備に取り組む事業主団体との連携や支援を行い、業種別職業能力評価基準の開発・改訂を行うとともに、能力本位の労働市場の形成に不可欠な、求人企業における中堅人材の能力要件の明確化に向けた「人材要件確認表」の作成を併せて実施した。</p> <p>1. 新規業種 (1業種) (平成28年度中間報告完成)</p> <p>「警備業」</p> <p>2. 継続業種 (1業種) (平成28年度完成)</p> <p>「エステティック業」</p> <p>3. 改訂 (メンテナンス) 業種 (4業種) (平成28年度完成)</p> <p>「事務系職種」(人事・人材開発・労務管理、生産管理、ロジスティクス)</p> <p>「スーパーマーケット業」</p> <p>「卸売業 (食品・菓子・雑貨等)」</p> <p>「ウェブ・コンテンツ制作業 (モバイル)」</p> <p>職業能力評価基準の企業内での効果的な活用・普及を図るために、次のウの取組に加え、実際に企業での人材育成の現場で直接活用することができるツールを作成・改訂した。(平成27年度末までに13業種開発)</p> <p>「事務系職種」(人事・人材開発・労務管理、生産管理、ロジスティクス)</p> <p>「スーパーマーケット業」</p> <p>「卸売業 (食品・菓子・雑貨等)」</p> <p>「ウェブ・コンテンツ制作業 (モバイル)」</p> <p>「エステティック業」</p> <p>策定が完了した職業能力評価基準をホームページに掲載するとともに、</p>

事 項	実 施 状 況
等の普及・活用促進	<p>個別企業への導入・活用促進を図るため、リーフレットを作成・配布した。</p> <p>また、企業等に対する職業能力評価基準の普及・活用促進のため、企業の人事担当者や評価者を対象とした「職業能力評価基準活用セミナー」等を全国で延べ17回（延べ参加者数714人）開催した。その他、業界団体等が開催する研修会において、職業能力評価基準の活用に関する講演・演習等を全国で延べ22回（延べ参加者数768人）行った。</p> <p>さらに、職業能力評価基準導入活用企業の好事例を紹介した「職業能力評価基準活用事例集」を作成・配布した。</p> <p style="text-align: center;">ホームページ掲載業種数 54業種（他に事務系職種も掲載） （平成28年度末現在）</p>
エ 業界検定スタートアップ支援事業に係る助言・指導	<p>業界検定を実施する団体に対して、「職業能力評価基準」を通して検定制度等の質を担保することを目的に、当該団体に対して必要な助言・指導を行った。また、「業界検定スタートアップ支援事業評価委員会」を設置し、進捗・成果を審査した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 業界検定スタートアップ支援事業受託業界団体への助言・指導 4業種（旅行業、ホテル業、ブライダル業、スポーツイベント業） 2. 業界検定の運用に取り組む団体への助言・技術的支援 4業種（フィットネス産業、百貨店業、学習塾業、製造請負業） 3. 業界検定スタートアップ支援事業評価委員会 2回開催
オ 職業能力評価基準の普及、活用促進に係るその他の業務	<p>職業能力評価基準普及、活用促進に係る業務として、上記の他に次の業務を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 業界団体と連携した職業能力評価基準普及の実態調査 <p>職業能力評価基準が整備されている業種の業界団体と連携して、職業能力評価基準の活用の実態について調査を実施し、活用実態の把握を分析の上、取りまとめ結果を厚生労働省へ報告した。</p> <p>（対象：「ロジスティクス分野」「スーパーマーケット業」「卸売業（食品・菓子・雑貨等）」「ウェブ・コンテンツ制作業（モバイル）」「ねじ製造業」の計5業種）</p> 2. 業界マップの作成 <p>職業能力評価基準の今後の整備に資することを目的に、業界マップを取りまとめ、厚生労働省へ提出した。</p> 3. 「見える化ツール」の作成 <p>職業能力評価基準の「見える化ツール」として、「エステティック業」に関するコンピテンシーモデルの動画を作成し、厚生労働省へ提出した。</p>

第2 職業生活の全期間を通じたキャリア形成の支援

事 項	実 施 状 況
<p>1 企業におけるキャリア形成の促進</p> <p>ア 職業能力開発サービスセンター業務への支援</p>	<p>事業主等に対してキャリア形成支援に関する助言・指導、情報提供等を行う職業能力開発サービスセンター業務を、都道府県協会と十分な協力及び連携のもとに支援するため、次の事業を行った。</p> <p>なお、岐阜県、三重県地区については平成24年度から、岡山県地区については平成28年度から同業務を中央協会が行っている。</p> <p>1. 地域における労働者のキャリア形成を推進するため、都道府県協会に設置した職業能力開発サービスセンターに配置されているキャリア開発アドバイザー、人材育成コンサルタント、キャリア形成サポーターが、事業主等に対し、キャリア形成支援に関する各種助言・指導、情報提供等を効果的に行うため次の支援を行った。</p> <p>(1) キャリア支援企業創出促進事業業務取扱手引の作成・配布 250部 [250部]</p> <p>(参考) 各都道府県協会における各種支援実績 窓口相談、企業訪問等 45,873件 [36,221件]</p> <p>(2) 職業能力開発推進者講習の円滑かつ効果的な実施を目的に、情報提供、教材の紹介等の各種支援を行った。 (参考) 各都道府県協会における職業能力開発推進者講習開催実績 開催回数：115回 [116回] 参加者数：3,190名 [3,230名]</p> <p>(3) 適切な情報提供 企業、労働者の多様化するニーズに即応した職業能力の開発及び労働者のキャリア形成を推進するために、必要なデータの蓄積・更新を進め、インターネット等を通じて都道府県協会、事業主等に対して業務支援及び情報提供サービスを行った。</p> <p>(4) キャリアコンサルティング等の実施 企業による従業員へのキャリア形成支援と従業員の主体的・自律的なキャリア形成が、より良い共生関係のもとに促進されるよう、キャリア形成サポーターを企業に訪問させ、キャリア診断サービスを実施するための支援を行った。</p> <p>ア. キャリア診断サービス実施事業所 135事業所 [259事業所] イ. キャリア診断サービスのご案内(リーフレット)の作成・配布 20,000部 [17,500部] ウ. キャリア診断サービスの手引きの作成・配布</p>

事 項	実 施 状 況
<p data-bbox="193 1787 480 1962">イ キャリアコンサルティングの普及促進及び研修の効果的な実施</p>	<p data-bbox="1134 210 1406 241">10,000部〔10,000部〕</p> <p data-bbox="547 255 1166 286">エ. キャリア診断実施に係るシート等の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="571 304 1377 336">・ キャリア診断シートA（人事担当者用） 750部〔2,500部〕 <li data-bbox="571 351 1393 383">・ キャリア診断シートB（従業員用） 9,500部〔15,000部〕 <li data-bbox="571 398 1278 430">・ キャリア診断シートC（キャリア・カウンセリング用） <p data-bbox="1147 448 1390 479">2,300部〔4,800部〕</p> <p data-bbox="507 544 1430 669">2. 職業能力開発サービスセンター業務の計画的かつ効果的な運営を支援するため、キャリア開発アドバイザー、人材育成コンサルタント、キャリア形成サポーターを対象とした研修会を開催した。</p> <p data-bbox="523 687 959 719">(1) キャリア開発アドバイザー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="563 734 1023 766">ア. 開催日：平成28年5月31日、6月1日 <li data-bbox="563 781 1078 813">イ. 場 所：AP品川アネックス（東京都） <li data-bbox="563 828 759 860">ウ. 参加者：46名 <p data-bbox="523 878 930 909">(2) 人材育成コンサルタント研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="563 925 898 956">ア. 開催日：平成27年6月2日 <li data-bbox="563 972 967 1003">イ. 場 所：AP浜松町（東京都） <li data-bbox="563 1019 743 1050">ウ. 参加者：6名 <p data-bbox="523 1066 930 1097">(3) キャリア形成サポーター研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="563 1113 898 1144">ア. 開催日：平成27年6月3日 <li data-bbox="563 1160 967 1191">イ. 場 所：AP浜松町（東京都） <li data-bbox="563 1207 743 1238">ウ. 参加者：9名 <p data-bbox="507 1301 1430 1471">3. 個人の主体的なキャリア形成を支援する企業を創出するため、次のとおりリーフレットを作成・配布するなど、事業主等に対して各種広報活動等を行い、企業内キャリア形成支援の普及に努めるとともに、事業内職業能力開発計画等の周知啓発を行った。</p> <p data-bbox="523 1536 1193 1568">(1) 職業能力開発サービスセンターのご案内（簡易版）</p> <p data-bbox="1134 1585 1406 1617">27,000部〔60,000部〕</p> <p data-bbox="523 1632 1193 1664">(2) 職業能力開発サービスセンターのご案内（詳細版）</p> <p data-bbox="1134 1682 1406 1713">20,000部〔17,500部〕</p> <p data-bbox="507 1778 1430 2047">企業及び従業員のキャリア形成支援を推進するために、職業能力開発推進者、キャリアコンサルタント等を対象に、中央協会が開発・改訂したキャリア形成支援ツール（CADS&CADI）を活用したセミナーを開催した。また、大学等の学生支援担当者を対象に、学生の職業意識の啓発や適切な自己理解に基づく職業選択等、キャリア形成支援に資するセミナーを開催した。</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>さらに、定年後のシニアになっても生き生き働き続けるために、40代半ば以降の従業員を対象に、中央協会が開発した教材を活用したキャリア・シフトチェンジのための研修（ワークショップ）及び当該研修を実施できるインストラクターの養成を行うためのセミナーを実施した。</p> <p>1. CADS&CADIを使った従業員のキャリア開発の進め方セミナー（全8回）</p> <p>(1) 第1回</p> <p>ア. 開催日：平成28年5月25日</p> <p>イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：29名</p> <p>(2) 第2回</p> <p>ア. 開催日：平成28年6月20日</p> <p>イ. 場 所：エル・大阪（大阪府）</p> <p>ウ. 受講者：19名</p> <p>(3) 第3回</p> <p>ア. 開催日：平成27年7月27日</p> <p>イ. 場 所：北海道立職業能力開発支援センター（北海道）</p> <p>ウ. 受講者：8名</p> <p>(4) 第4回</p> <p>ア. 開催日：平成28年8月23日</p> <p>イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：30名</p> <p>(5) 第5回</p> <p>ア. 開催日：平成28年11月18日</p> <p>イ. 場 所：福岡県中小企業振興センター（福岡県）</p> <p>ウ. 受講者：30名</p> <p>(6) 第6回</p> <p>ア. 開催日：平成28年12月8日</p> <p>イ. 場 所：ウインクあいち（愛知県）</p> <p>ウ. 受講者：26名</p> <p>(7) 第7回</p> <p>ア. 開催日：平成29年1月25日</p> <p>イ. 場 所：エル・大阪（大阪府）</p> <p>ウ. 受講者：24名</p> <p>(8) 第8回</p> <p>ア. 開催日：平成29年2月22日</p> <p>イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：20名</p>

事 項	実 施 状 況
<p>2 労働者の主体的な能力開発に対する適切な情報提供</p>	<p>2. 教育機関向けキャリア形成支援セミナー（全1回）</p> <p>○「グループによる語り合い」をめぐるキャリア形成支援セミナー</p> <p>ア. 開催日：平成29年2月23日、24日（2日間）</p> <p>イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：11名</p> <p>3. キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクター養成研修（全4回）</p> <p>(1) 第1回</p> <p>ア. 開催日：平成28年6月23日、6月24日</p> <p>イ. 場 所：A P 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：12名</p> <p>(2) 第2回</p> <p>ア. 開催日：平成28年10月6日、10月7日</p> <p>イ. 場 所：A P 梅田大阪（大阪府）</p> <p>ウ. 受講者：19名</p> <p>(3) 第3回</p> <p>ア. 開催日：平成28年12月1日、2日</p> <p>イ. 場 所：A P 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：21名</p> <p>(4) 第4回</p> <p>ア. 開催日：平成29年2月4日、5日</p> <p>イ. 場 所：A P 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 受講者：14名</p> <p>4. キャリア・シフトチェンジのためのワークショップ（オープン研修）（全1回）</p> <p>ア. 開催日：平成29年2月6日</p> <p>イ. 場 所：ソニックシティ（埼玉県）</p> <p>ウ. 受講者：9名</p> <p>労働者の自発的な職業能力開発の取組に対する支援及び環境整備として、「教育訓練給付制度講座検索システム」に一般教育訓練指定講座及び専門実践教育訓練指定講座に関する情報を提供した。</p> <p>また、教育訓練施設から提出された一般教育訓練及び専門実践教育訓練への講座指定申請に関する資料に対する事前調査を行った。</p> <p>（参考）指定講座の概要</p> <p>○一般教育訓練</p> <p>指定講座数：10,165講座（通学制：7,806件、通信制2,359件）</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>教育訓練施設数：1,828施設</p> <p>○専門実践教育訓練</p> <p>指定講座数：2,243講座</p> <p>業務独占・名称独占資格の養成課程：1,290講座</p> <p>専門学校の職業実践専門課程：830講座</p> <p>専門職学位課程：82講座</p> <p>大学等の職業実践力育成プログラム：37講座</p> <p>一定レベル以上の情報通信技術養成課程：4講座</p> <p>(出所：厚生労働省（平成28年10月1日現在）)</p>

第3 ものづくり日本を支える技能の継承・発展及び振興

事 項	実 施 状 況
<p>1 技能者の技能向上・ものづくり発展に向けた取組</p> <p>ア 若年者ものづくり競技大会</p>	<p>1. 技能競技大会の実施</p> <p>第11回若年者ものづくり競技大会を、厚生労働省との共催により栃木県立県央産業技術専門校、宇都宮市体育館（宇都宮市）、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）、沖縄市体育館（沖縄市）で以下のとおり開催した。</p> <p>(1)開催日程:平成28年8月7日（日）、8日（月）※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月7日（日） 競技会場の下見、工具展開、職種別の開会式 ※ ・8月8日（月） 競技実施 ※ <p>[※旋盤職種、フライス盤職種は8月5日から8日の間]</p> <p>全競技終了後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月9日（火） ホームページにて、入賞者を発表した。 <p>今大会の入賞者は、金賞16人、銀賞32人、銅賞43人、敢闘賞56人であった。第1位受賞者に、厚生労働大臣賞として盾を授与した。</p> <p>(2)開催場所:栃木県立県央産業技術専門校、宇都宮市体育館（宇都宮市）、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）、沖縄市体育館（沖縄市） 4会場</p> <p>(3)競技職種:14職種を実施</p> <p>【栃木県立県央産業技術専門校会場】 旋盤、フライス盤、自動車整備 3職種</p> <p>【宇都宮市体育館会場】</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>機械製図(CAD)、電子回路組立て、電気工事、IT ネットワークシステム管理 4 職種</p> <p>【沖縄コンベンションセンター会場】</p> <p>メカトロニクス、ウェブデザイン、オフィスソフトウェア・ソリューション、グラフィックデザイン、ロボットソフト組込み 5 職種</p> <p>【沖縄市体育館会場】</p> <p>木材加工、建築大工 2 職種</p> <p>(4)参加選手: 358 人</p> <p>(5)来 場 者 : 約 4,193 人</p> <p>(6)大会要綱: 本大会実施要領に基づき、技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>(7)大会運営: 競技委員会や技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。また、入賞者に対するメダル等を作成し配布した。</p> <p>(8)後 援 : 文部科学省、経済産業省、国土交通省、山形県、滋賀県、NHK、各都道府県職業能力開発協会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)産業教育振興中央会、職業能力開発総合大学校、(一社)全国技能士会連合会、(公社)全国工業高等学校長協会、(一社)全国高等学校PTA連合会、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、(株)日刊工業新聞社、(一社)日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会</p> <p>2. ものづくり技能に関する啓発活動等</p> <p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>(1)大会ポスター及び職種紹介小冊子の作成・配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数: 3,200 枚(ポスター)、22,900 部(職種紹介小冊子) ・配付先: 全国の工業高校、公共職業能力開発施設、都道府県、都道府県協会及び競技会場近隣の小中学校等 1,127 ヶ所へポスターと職種紹介小冊子を配付した。 <p>(2)ガイドブック(選手名簿、競技課題等を掲載)の作成・配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数: 900 部 ・配付先: 競技委員、来場者、都道府県及び都道府県協会等へガイドブックを配付した。 <p>(3)技能五輪参加企業(技能五輪全国大会成績優秀者等)による実演等</p>

事 項	実 施 状 況
イ 技能五輪全国大会	<ul style="list-style-type: none"> ・実 施 日：平成 28 年 8 月 7 日（日）、8 日（月） ・実 演 場 所：栃木県立県央産業技術専門校、宇都宮市体育館、沖縄コンベンションセンター ・実 演 職 種：電子回路組立て、電気工事、グラフィックデザイン、旋盤、フライス盤及び自動車整備職種 <p>(4) ホームページを活用した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲 載 内 容：競技課題等を掲載し、本大会に係る情報提供を行った。 ・掲 載 先：中央職業能力開発協会のホームページ ・アクセス数：300,443 件（H28/4/1～H29/3/31 現在） <p>3. アンケートの実施</p> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>(1) 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</p> <p>(2) 回 収 状 況：来場者分 807 件、参加選手分 277 件、選手所属機関 170 件のアンケートを回収した。</p> <p>1. 技能競技大会の実施</p> <p>第 54 回技能五輪全国大会を山形ビッグウイング（山形市）他、全 14 会場以下のとおり開催した。</p> <p>(1) 開 催 日 程：平成 28 年 10 月 21 日（金）～24 日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 21 日（金） 競技会場の下見、工具展開を行った[一部職種は先行して実施]。 ・10 月 22 日（土） 競技実施 [一部職種は先行して実施] ・10 月 23 日（日） 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・10 月 24 日（月） 9 時 30 分からの「山形県総合運動公園」の閉会式において、大会の入賞者（金賞 43 人、銀賞 89 人、銅賞 105 人、敢闘賞 206 人）にメダルを授与した。 <p>また、金賞受賞者、最優秀選手団、優秀選手団には、厚生労働大臣賞等として記念の盾を授与した。</p> <p>(2) 開 催 場 所：【競技会場】</p> <p>山形ビッグウイング、山形県立産業技術短期大学校、山</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>形県立山形職業能力開発専門校、山形市総合スポーツセンター、山形市西公園、トヨタカローラ山形株式会社ボデーショップ山形、ホテルメトロポリタン山形、山形学院高等学校（山形市）、山形県総合運動公園、天童市スポーツセンター（天童市）、寒河江市市民体育館、寒河江市屋内多目的運動場（チェリーナさがえ）（寒河江市）、山辺高等学校、山辺町町民総合体育館（山辺町）</p> <p>14会場</p> <p>(3) 競技職種: 41 職種を実施</p> <p>機械組立て、抜き型、精密機器組立て、メカトロニクス、機械製図、旋盤、フライス盤、構造物鉄工、電気溶接、木型、タイル張り、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、電工、工場電気設備、石工、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、IT ネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理</p> <p>(4) 参加選手: 1,318 人</p> <p>(5) 来 場 者 : 延べ 153,586 人</p> <p>(6) 大会要綱: 本大会実施要領に基づき、技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>(7) 大会運営: 運営委員会・競技委員会・技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。</p> <p>(8) 後 援 : 文部科学省、経済産業省、国土交通省、各都道府県（山形県を除く。）、各都道府県職業能力開発協会、NHK、(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、(一社)全国技能士会連合会、全国専修学校各種学校連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、(株)日刊工業新聞社、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本産業訓練協会、日本商工会議所及び日本労働組合総連合会</p> <p>2. 第 54 回技能五輪全国大会選考会の開催</p> <p>工業高校生等に対して、技能五輪全国大会への出場機会を与えるとともに、出場レベルの技能を有している者を選考するため、以下のとおり選考を行った。</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>(1)実施職種、開催日及び実施場所 「メカトロニクス」、「自動車整備」、「IT ネットワークシステム管理」※、「ウェブデザイン」職種 ・開催日：平成28年8月7日(日)～8日(月) ※「IT ネットワークシステム管理」は平成28年8月5日(金)～6日(土) ・開催場所：栃木県立県央産業技術専門校、宇都宮市体育館（宇都宮市）、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）</p> <p>(2)結果 上記(1)の各職種について、上位選手3名及び山形県選手の最上位者を第54回技能五輪全国大会 都道府県選手団へ推薦した。</p> <p>3. 2次予選会の実施 旋盤職種及び電子機器組立て職種については、2次予選会を行い、参加人数の調整を行った。</p> <p>(旋盤職種) 実施日：平成28年7月30日(土)、31日(日) 場 所：中部職業能力開発センター、東海職業能力開発大学校、関西職業能力開発センター</p> <p>(電子機器組立て職種) 実施日：平成28年7月26日(火) 場 所：コンベンションルーム AP西新宿</p> <p>4. ものづくり技能に関する啓発活動等 競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>(1)リーフレットの作成 ・作成部数: 25,000部 ・配付先：競技日程、競技会場、競技職種等を紹介したリーフレットを公共職業能力開発施設等976ヶ所へ配布した。</p> <p>(2)職種紹介小冊子の作成 ・作成部数: 14,000部 ・配布先：競技内容や競技のポイントを解説した小冊子を、大会期間中、競技会場（14会場）にて来場者へ配布した。</p> <p>(3)ホームページを活用した情報の提供 ・掲載内容: 競技課題の掲載の他、直接会場に来場できない方のため、競技風景等の写真及び映像（ダイジェスト映像）を掲載し、本大会を紹介した。 ・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ</p>

事 項	実 施 状 況
ウ 技能グランプリ	<p>・アクセス数：842,554 件（H28/4/1～H29/3/31 現在）</p> <p>(4) 報道機関への周知・広報等の実施</p> <p>・山形県と協力して山形新聞、山形テレビなどに対して実施した。</p> <p>5. アンケートの実施</p> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>(1) 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</p> <p>(2) 回 収 状 況：来場者分 608 件、参加選手分 740 件、選手所属機関 423 件のアンケートを回収した。</p> <p>6. 競技中継の実施</p> <p>定点カメラ及び撮影クルーによる撮影を行って、ダイジェスト映像を作成し、競技映像を専用のウェブサイトで配信した。</p> <p>大会後、YouTube にアップし、大会の周知を図った。</p> <p>(内容)</p> <p>(1) 定点カメラによるライブ映像配信</p> <p>山形ビッグウイング内 5 職種、山形県総合運動公園内 5 職種</p> <p>(2) 全職種ハイライト映像配信</p> <p>41 職種</p> <p>(アクセス数：20,833 件)</p> <p>7. 技能五輪全国大会の活性化のための調査検討委員会の開催</p> <p>技能五輪全国大会の活性化のために必要な調査・検討を行い、報告書を取りまとめた。</p> <p>実施時期：平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月 4 回実施</p> <p>委 員：厚生労働省担当官、学識経験者、企業の技能者成責任者、都道府県協会役員等 14 名</p> <p>8. その他</p> <p>大会終了後、職種別得点分布をホームページに掲載、また、選手に対して自分の得点・順位の情報を提供し、技能の向上を継続する動機付けを図った。</p> <p>1. 技能競技大会の実施</p> <p>第 29 回技能グランプリをツインメッセ静岡（静岡市）他、全 6 会場で以下のとおり開催した。</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>(1)開催日程:平成29年2月10日(金)～13日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月10日(金) 競技会場の下見、工具展開を行った[一部職種は先行して実施]。 ・2月11日(土) 競技実施 [一部職種は先行して実施] ・2月12日(日) 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。 ・2月13日(月) 14時00分からの「静岡市民文化会館」の閉会式において、大会の入賞者(金賞31人、銀賞49人、銅賞61人、敢闘賞79人)にメダルを授与した。また、金賞受賞者、最優秀選手団、優秀選手団には、厚生労働大臣賞等として記念の盾を授与した。 <p>(2)開催場所:【競技会場】</p> <p>ツインメッセ静岡、中央調理製菓専門学校静岡校、ポリテクセンター静岡、(株)静岡鐵工所(静岡市)、キラメッセぬまづ、静岡県立沼津技術専門学校(沼津市) 6会場</p> <p>(3)競技職種:30職種を実施</p> <p>染色補正、婦人服製作、紳士服製作、和裁、寝具、石工、建築大工、かわらぶき、畳製作、建築配管、プラスチック系床仕上げ、カーペット系床仕上げ、壁装、旋盤、フライス盤、機械組立て、家具、建具、ガラス施工、貴金属装身具、印章木口彫刻、表具、園芸装飾、ペイント仕上げ広告美術、粘着シート仕上げ広告美術、日本料理、フラワー装飾、レストランサービス、タイル張り※、造園※</p> <p>※タイル張り職種と造園職種は今年度からの新規職種</p> <p>(4)参加選手:514人</p> <p>(5)来場者:延べ13,363人</p> <p>(6)大会要綱:本大会実施要領に基づき、技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>2.ものづくり技能に関する啓発活動等</p> <p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>(1)大会ポスター及びリーフレットの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数:1,500部(ポスター)、5,100部(リーフレット) ・配付先:競技日程、競技会場、競技職種等を紹介したポスターを公共職業能力開発施設等158ヶ所へ配布した。リー

事 項	実 施 状 況
エ 技能五輪国際大会出場予定選手の育成強化	<p>フレットは競技会場で配布した。</p> <p>(2) ホームページを活用した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容：競技課題等を掲載し、本大会に係る情報提供を行った。 ・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ ・アクセス数：284,559 件（H28/4/1～H29/3/31 現在） <p>3. アンケートの実施</p> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>(1) 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向等</p> <p>(2) 回収状況：来場者分 889 件、参加選手分 264 件、選手所属機関 213 件のアンケートを回収した。</p> <p>1. 2017 年の国際大会競技職種に係る情報収集及び発信</p> <p>第 44 回国際大会（アブダビ大会）開催国及び 2016 年のユーロ大会開催国へ職員等を派遣し、競技会場やインフラ（競技機器）等の情報を調査・収集した。</p> <p>(1) 派遣時期：平成 28 年 5 月 8 日（日）～15 日（日）</p> <p>(2) 派遣場所：アラブ首長国連邦（アブダビ）、スウェーデン</p> <p>2. 研修（オリエンテーション）の実施</p> <p>国際大会への派遣に当たり、選手及びエキスパートを一堂に集めて研修を以下のとおり行った。</p> <p>(1) 実施日：平成 28 年 12 月 14 日（水）、15 日（木）</p> <p>(2) 実施場所：クロス・ウェーブ船橋（船橋市）</p> <p>(3) 参加者：選手、エキスパート、技術代表等</p> <p>(4) 内 容：第 43 回大会の出場選手及びエキスパートによる経験談、国際大会出発までの準備、スケジュール、心構え等について研修を行った。また、職種に必要な資料を翻訳し配布した。</p> <p>3. 出場選手強化のための各種委員会の設置・開催</p> <p>(1) 技能五輪国際大会出場選手強化委員会の設置・運営</p> <p>ア. 職種別強化総括検討委員会及び総括実行委員会</p> <p>日本代表選手の競争力強化のための戦略の検討等を目的に以下のとおり行った。</p>

事 項	実 施 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：平成 28 年 5 月～9 月 4 回 ・委員等：WS J (WorldSkills 日本) 技術代表、エキスパート経験者等 <p>イ. 職種別検討委員会</p> <p>職種ごとの日本代表選手の強化訓練計画策定等を目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：平成 28 年 6 月～12 月 1～2 回 ・委員：エキスパート経験者、選手経験者、関係業界団体責任者等 <p>ウ. 職種別実行委員会</p> <p>職種ごとの日本代表選手の強化訓練計画の実施等を目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月 2 回程度 ・委員：エキスパート経験者、選手経験者、エキスパート、選手指導員、関係業界団体責任者等 <p>(2) 技能五輪全国大会活性化調査検討委員会の設置・運営</p> <p>全国大会の現状を詳細に調査し国民の技能尊重気運の醸成等全国大会の持つ様々な機能を一層強化し、活性化するための方策を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月 4 回 ・委員：学識経験者、企業の技能者育成責任者、学校関係者等 <p>4. 実践的強化訓練の実施及び中小企業等への支援</p> <p>上記 3 の(1)ウ. の職種別実行委員会により出場予定選手の実践的訓練を実施するとともに、中小企業等については、強化訓練に係る材料費等の支援を行った。</p> <p>5. WS I 総会・技術委員会及び関係会合への派遣</p> <p>国際大会の運営母体である WS I が開催する総会へ、公式代表、技術代表等を派遣した。また WS I が開催する大会準備週間会議へ技術代表等を派遣した。</p> <p>【WS I 総会及び技術委員会】</p> <p>(1) 派遣時期：平成 28 年 10 月 2 日～8 日</p> <p>(2) 派遣場所：カナダ (ナイアガラフォールズ)</p> <p>(3) 内 容：第 44 回国際大会 (アブダビ大会) での競技職種、競技規則等について協議が行われ、日本としての意見表明、情報の収集等を行った。</p>

事 項	実 施 状 況
<p>オ 北東アジア地域における技能競技大会の検討の推進</p>	<p>【大会準備週間会議（CPW）】</p> <p>(1)派遣時期：平成29年1月26日～2月1日</p> <p>(2)派遣場所：アラブ首長国連邦（アブダビ）</p> <p>(3)内 容：第44回国際大会（アブダビ大会）での競技職種、競技規則等について協議が行われ、日本としての意見表明、情報の収集等を行った。</p> <p>6. 出場予定選手等に対する大会登録料の支援 大会出場予定選手等のWSIの運営規則等に基づき登録料を支払った。</p> <p>7. EuroSkills2016 へのエキスパート等の派遣 EuroSkills2016 へ第44回技能五輪国際大会のエキスパート等を派遣した。</p> <p>【EuroSkills2016】</p> <p>(1)派遣時期：平成28年11月28日～12月5日</p> <p>(2)派遣場所：スウェーデン（ヨーテボリ市）</p> <p>(3)内 容：第44回国際大会（アブダビ大会）エキスパート4名、選手1名、通訳5名</p> <p>北東アジア地域（日本、韓国、台湾等）における技能競技大会の開催に向け、韓国、台湾へエキスパート経験者、第44回国際大会出場候補選手を派遣し、技術的な交流を行った。併せて、韓国、台湾の技術代表等の代表者と技能競技大会実施に向けた協議を行った。</p> <p>1. 関係国・地域との交流</p> <p>(1)台湾大会派遣 大会名：第46回台湾技能五輪全国大会 期 間：平成28年8月9日～13日 場 所：台湾（台中市）</p> <p>(2)韓国大会派遣 大会名：第51回韓国技能五輪全国大会 期 間：平成28年9月4日～10日 場 所：韓国（ソウル市）</p> <p>(3)第54回技能五輪全国大会への韓国、台湾の技術代表等、機械製図職種エキスパート、選手等の受入れ 期 間：平成28年10月19日～24日</p>

事 項	実 施 状 況
<p>2 若年技能者人材育成 支援等</p> <p>ア 地域における技能 振興</p>	<p>場 所：山形市ほか</p> <p>2.技能競技大会の開催に向けた韓国、台湾の技術代表等の代表者との協議</p> <p>(1)協議日程 第1回：平成28年8月10日 台湾（台中市） 第2回：平成28年9月8日 韓国（ソウル）</p> <p>(2)協議内容 ア.平成27年度の取組の評価 イ.平成29年度の取組のあり方（特別競技会の実施）</p> <p>1.地域における技能振興事業の支援等</p> <p>(1)都道府県技能振興コーナーが実施する技能振興事業の支援 都道府県技能振興コーナー（以下「コーナー」という。）が実施する技能振興事業が効果的に実施されるよう、38コーナーの技能振興イベントについて、延べ45回、地元新聞紙等への広告を掲載した。</p> <p>(2)ブロック開催の技能進行事業の実施 全国のコーナーを6ブロックに分けて、ブロックごとに各コーナーと協力しつつ、以下のイベントを実施した。 ア.卓越した技能者の表彰（現代の名工）展※ イ.技能競技大会展 ウ.技能士展※ ※ア.及びウ.については一般社団法人全国技能士会連合会（以下「全技連」という。）と連携し、各地の技能士会の協力を得て開催した。</p> <p>(3)現代の名工のシンポジウム 平成28年が50回目の「卓越した技能者（現代の名工）の表彰」にあたることを記念して、「現代の名工シンポジウム」を開催。全技連と連携し、11月8日、ベルサール半蔵門において参加者184名を集めて開催した。参加者アンケートで「非常に満足」又は「満足」と回答した割合は94.7%。</p> <p>(4)「地域発！いいもの」応援 各地域で行われている技能振興に資する取組み・制度等を広く国民への周知を図るため、名称を「『地域発！いいもの』応援」として、10都県から応募があった20件について審査を行い、5都県6事例を認定し、結果の公表を行った。</p> <p>(5)技能士ロゴマーク 技能検定制度のさらなる周知・普及を図るため、一級技能士又は単</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>一等級技能士が製作した、あるいは製作に関わった場合にのみ、商品又は作業現場等に表示できるロゴマークを作成した。</p> <p>(6) 技能士の活躍好事例集の作成</p> <p>社会における技能士に対する認知度向上のため、技能士の活躍ぶりに関する好事例集として、①技能士の活躍による企業業績の向上等に焦点を当てた企業関係者向けと、②企業内における若い技能士の処遇、働きがい等に焦点を当てた学生向けの冊子を作成。企業向け、学校向け、各 15,300 部作成した。</p> <p>(7) 技能士再訓練教材の作成</p> <p>技能士がその能力を永きにわたり発揮するためには、技術革新や業界動向についてもキャッチアップし、それに応じた技能の向上が求められる。そのため、全技連等を通じて業界団体より聴取した業界事情、過去の技能検定受検者数の動向等を踏まえ、最新技能等のキャッチアップ支援が困難な職種を把握し、一級技能士等を対象にした映像教材を作成した。</p> <p>【作成職種】</p> <p>「かわらぶき (250 部配布)」「防水施工 (240 部配布)」の 2 職種</p> <p>(8) 入職促進ガイドブックの作成</p> <p>製造業・建設業を対象とした、業界・業種への入職を促すためのガイドブックを作成し、ポータルサイト「技のとびら」で公開した。</p> <p>ガイドブックは製造業・建設業各 12,000 部作成した。</p> <p>取材した企業の職種は、製造業は、金型製作、電子機器組立、機械検査、機械製図、機械加工の 5 職種。建設業は、造園、とび、配管、左官、電気工事、築炉の 6 職種。</p> <p>(9) 技能伝承に取り組む企業の好事例の条件整理</p> <p>全国の各コーナーにおいて開催する、技能伝承に取り組む企業の好事例の発表会及び意見交換会に先だって、好事例選定の基準、発表会及び意見交換会の開催要領について作成し、全コーナーに提示した。</p> <p>(10) 「IT マスター」稼働に向けた教材等作成</p> <p>児童・生徒等が若年のうちから情報技術関係の知識・活用法に慣れ親しんでもらうことを目的として、学校等に「IT マスター」を派遣するに当たり、段階にあった必要な教材・資料を作成した。</p> <p>【作成教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教材 (小学生向け) (中学生向け) ・グラフィック教材 (小学生向け) (中学生向け) ・ウェブデザイン教材 (小中学生向け) (高校生向け) ・情報セキュリティ教材 (中学生向け)

事 項	実 施 状 況
	<p>2. 技能検定制度等に係るポータルサイト「技のとびら」の保守・管理</p> <p>(1) 「技のとびら」の積極的な周知 コンテンツの拡充、各種動画の掲載等によるアクセス数の向上を図るとともに、コンテンツの一つである「職種を調べる・探す」のパンフレットを 15,000 部作成し、各コーナーを通じて学校等に配布した。</p> <p>(2) 「技のとびら」の運営およびコンテンツ 「地域発！いいもの」（募集及び選定）、「現代の名工のシンポジウム」等のコンテンツを追加した。 「技のとびら」のコンテンツの情報更新を合計194回行い、年間のアクセス数は483,782PVに到達した。</p> <p>3. 技能競技大会成績優秀者を活用した若年者のものづくり産業への就業意識の啓発</p> <p>(1) 各種競技大会に係る広報資料の作成 平成 27 年度に作成した、ブラジル（サンパウロ）で行われた第 43 回技能五輪国際大会に係る DVD 付き冊子「Go for the GOLD」を 5,000 部増刷し、技能競技大会開催地及びブロック開催のイベント（現代の名工展、技能競技大会展、技能士展）の会場において配布した。 また、ブロックごとに開催した技能競技大会展において展示したパネルを活用し、この内容と、新たに取材を行った第 44 回技能五輪国際大会（アブダビ）出場予定の 5 名を紹介した冊子について 5,000 部作成した。</p> <p>(2) 技能五輪国際大会金メダリスト等の派遣 コーナーからの技能五輪国際大会金メダリスト等の技能競技大会の成績優秀者の派遣等の要請に対し、当該成績優秀者や所属企業等と調整を行い、延べ8コーナーに対し延べ18人の派遣を実施した。 （派遣先コーナー）沖縄(2回)、秋田、石川、島根、佐賀、兵庫、東京</p> <p>4. 技能五輪全国大会予選の実施等</p> <p>(1) 技能五輪全国大会予選の実施等 44コーナーにおいて、延べ71職種の予選の実施を行った。</p> <p>(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会に参加する選手に対して、参加選手及びその指導者の旅費と道具運搬費の援助を実施した。</p>

事 項	実 施 状 況																		
イ ものづくりマイスターの認定・登録	<p>5. ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組 技能の重要性・必要性への理解促進を図るため、各コーナーにおいて、以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. ものづくりマイスター以外の熟練技能者の活用 イ. 卓越した技能者の表彰（現代の名工）展の実施 ウ. 技能競技大会展の実施 エ. 技能士展の実施 オ. 技能伝承に取り組む企業の好事例発表および意見交換 カ. 「地域発！いいもの」認定委員会 キ. 技能五輪全国大会を活用した技能の理解促進 ク. 技能グランプリを活用した技能の理解促進 <p>1. ものづくりマイスター推進会議 ものづくりマイスター制度の効果的な推進等にかかる意見を聴取し、今後の取組に活かすために「ものづくりマイスター推進会議」を開催した（6月28日）。</p> <p>2. ものづくりマイスター候補者の掘り起こし ものづくりマイスターの職種別登録状況や都道府県内での地域的偏在等を踏まえ、ものづくりマイスターの拡大が必要な職種や地域のターゲットを明確にしつつ、業界団体や企業等を通じ、各コーナーにおいて、ものづくりマイスター候補者の掘り起こしや申請書類のとりまとめ等を実施した。</p> <p>3. ものづくりマイスター認定申請書の審査等 コーナーを経由して提出されたものづくりマイスター認定申請書について、ものづくりマイスター認定委員会にて審査を行い、計1,294名のものづくりマイスターを認定。認定者には、コーナーを通じて認定証を交付した。</p> <table border="1" data-bbox="574 1635 1220 1937"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>認定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>平成28年5月19日</td> <td>369名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成28年7月7日</td> <td>326名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成28年9月8日</td> <td>253名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>平成28年11月10日</td> <td>171名</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>平成29年1月19日</td> <td>175名</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. ものづくりマイスターに対する研修の実施等 各コーナーは、新たに認定されたものづくりマイスターに対して、企</p>		開催日時	認定者数	第1回	平成28年5月19日	369名	第2回	平成28年7月7日	326名	第3回	平成28年9月8日	253名	第4回	平成28年11月10日	171名	第5回	平成29年1月19日	175名
	開催日時	認定者数																	
第1回	平成28年5月19日	369名																	
第2回	平成28年7月7日	326名																	
第3回	平成28年9月8日	253名																	
第4回	平成28年11月10日	171名																	
第5回	平成29年1月19日	175名																	

事 項	実 施 状 況
ウ ものづくりマイスターの活用	<p>業、学校等の場で効果的に実技指導等が円滑に実施できるよう、ものづくりマイスターとしての活動条件等を説明するとともに、全国的な均一化を図るための実技指導技法の研修を実施した。</p> <p>5. ものづくりマイスターに係るデータ管理 新規認定されたものづくりマイスターの情報は、平成25年度に構築したものづくりマイスター認定・登録システムに登録し、公開。 また、データベースの改修を行い、集計表等の帳票内の文言変更、職種検索の際の注記の追加など、使い勝手の向上等を図った。</p> <p>1. ものづくりマイスターを活用した人材育成に関するコンセンサスの形成 以下のパンフレット・好事例集等を作成。 (1)「ものづくりマイスター制度のご案内」改訂版の作成（80,000部作成） (2)ものづくりマイスター活用好事例集の作成（中小企業編、学校編各12,000部新規作成ほか。） (3)ものづくり体験事例集の改定（12,000部新規作成ほか。） (4)ものづくりマイスターシンボルマークの周知・活用（シール：1,700パック、腕章・ワッペン：各750部増刷） (5)技能競技大会を活用した人材育成の取組マニュアルの増刷 職種共通編（本編及び資料編）：各770部 機械組立て職種：30部 抜き型：30部 電子機器組立て：20部 洋菓子製造職種：60部 建築大工：20部 左官：70部</p> <p>2. ものづくりマイスターの実技指導支援 (1)コーディネートマニュアルの作成 コーナーがマイスター派遣を行う際のコーディネートマニュアルとして、コーナー職員が身につけるべき知識と併せて以下の項目について調査を行い、調査結果を分析・取りまとめ、マニュアルを作成。 ア. 指導先の企業・学校等のニーズの把握 イ. ものづくりマイスターによる指導手法の把握 ウ. 指導先の企業・学校等とマイスターとの意思疎通のノウハウ等 (2)3級技能検定の実技試験課題を用いた人材育成マニュアルの作成 全国標準的に実技指導が行えるよう、3級技能検定課題を活用した</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>人材育成マニュアルを、機械加工（普通旋盤）、機械加工（フライス盤）、機械検査、電子機器組立て、左官、塗装（金属塗装）の5職種（6作業）について作成した。</p> <p>(3) 技能検定受検資格付与の準備</p> <p>ものづくりマイスターの実技指導を講習を受けた若年者に行った場合に、技能検定の受検資格を付与できる条件等について検討するため、技能検定に関する専門家等関係者6名をメンバーとする委員会を設置し、講習のカリキュラム、修了判定の在り方などについて検討を行った。</p> <p>(4) 「スーパーものづくりマイスター（仮称）」の創設検討</p> <p>労働安全に関する制度、生産設備管理の在り方、業務中の態度及び生産性向上に関する助言等といった、技能以外の指導もできる「スーパーものづくりマイスター（仮称）」の創設に向け、その在り方について検討を行った。</p> <p>委員会で議論した結果、「スーパーものづくりマイスター」という新たな資格は設けず、既存のものづくりマイスターのうち、労働安全衛生や生産性向上等について指導できる資格や経験等を有する方を把握し、派遣コーディネートの際に活用することとなった。</p> <p>3. コーナーにおけるものづくりマイスターに対する指導技法等講習の実施に関する支援等</p> <p>(1) 資料提供</p> <p>ものづくりマイスターによる実技指導等の質を確保・向上させるため、コーナーにおいて行う新たに認定されたものづくりマイスターに対する指導技法講習の実施に必要な資料等を必要に応じてコーナーに提供した。</p> <p>(2) ものづくりマイスターを対象とした事例発表・意見交換会を以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月6日 電気機器組立て、電工（事例発表者3名、他10名） ・12月7日 機械検査（事例発表者3名、他21名） ・12月8日 建築板金（事例発表者3名、他11名） <p>(3) 地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）支援対象者への指導に係る講習会の実施</p> <p>サポステの支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信の実施に際し、コーナー職員は、ものづくりマイスターに対して平成27年度に開発したマニュアル等を活用し必要な説明を行っておく必要があることから、コーナー職員を対象に当該マニュアル等の使用方法等についての講習会を4月26日に開催した。</p>

事 項	実 施 状 況
<p>エ 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営</p>	<p>4. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助</p> <p>コーナーの相談窓口において、技能検定の実技試験や技能競技大会の競技課題等を活用した若年技能者の人材育成に係る取組方法・訓練施設・設備等のコーディネート、実技指導等の相談・援助及びものづくりマイスターの派遣のコーディネート等を行った。</p> <p>5. ものづくりマイスターの派遣による指導の実施</p> <p>(1) ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施</p> <p>中小企業、団体や工業高校等からの要請を受けて、ものづくりマイスターを派遣し、実技指導を実施した。派遣にあたっては、要請先の指導ニーズを的確に把握した上で、効果的な指導となるよう、ものづくりマイスター選定と実技指導内容について適切なコーディネートを実施した。</p> <p>【実技指導の実施結果】</p> <p>全国で 119,210 人日</p> <p>(2) 「目指せマイスター」プロジェクト</p> <p>ア. 「ものづくりの魅力」発信</p> <p>小中学校等や教職員の理解と協力を得て、児童・生徒等に、ものづくりマイスターがその仕事をするようになったきっかけや仕事の内容、仕事の楽しさや辛さなどを直接語り、必要に応じてものづくり体験や事業所見学も行う「ものづくりの魅力」発信の授業を実施。</p> <p>イ. 若者に対する「ものづくりの魅力」発信</p> <p>サポステからの要請を受け、様々な要因で未就労になっている若者に対して、ものづくりマイスターを活用した必要な支援策を検討・実施。</p> <p>ウ. ものづくりマイスターの働く現場での職場体験実習</p> <p>一人親方や自ら事業を営んでいるものづくりマイスターに対し、2日間以上にわたる職場体験実習の実施について要請し、協力が得られた場合には、学校やハローワーク等に参加者を呼びかけ、実施。</p> <p>【「目指せマイスター」プロジェクトの実施結果】</p> <p>全国で 78,427 人日</p> <p>1. 地方公共団体、労使団体等との連携会議の設置・運営</p> <p>各コーナーにおいて、労働局、地方公共団体（都道府県労働関係部局・教育委員会、市町村）、経済団体、労働団体、工業高校関係者、職業</p>

事 項	実 施 状 況
<p>オ 全国斉一的な事業 展開</p>	<p>訓練機関、技能士団体等をメンバーとする都道府県別の連携会議を開催した。</p> <p>1. 全国会議の開催等による中央技能振興センター（以下「センター」という。）とコーナー間の連携の強化等 全国会議及びブロック会議を以下のとおり開催した。</p> <p>(1) 全国会議 開催日時：平成 28 年 4 月 25 日 開催場所：家の光会館 出席者：47 コーナー＋全技連＋センター職員：111 名 厚生労働省能力評価課：3 名 議 題： ア.平成 27 年度の活動実績及び平成 28 年度の目標 イ.委託費について ウ.新規事業に関する説明 エ.センター業務の概要及びスケジュールについて ほか</p> <p>(2) ブロック会議</p> <p>ア. 北海道・東北ブロック 開催日：平成 28 年 11 月 14 日 開催場所：仙台ガーデンパレス（宮城県）</p> <p>イ. 関東・甲信越ブロック 開催日：平成 28 年 11 月 21 日 開催場所：AP 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 東海・北陸ブロック 開催日：平成 28 年 11 月 11 日 開催場所：アイリス愛知（愛知県）</p> <p>エ. 近畿ブロック（大阪府） 開催日：平成 28 年 11 月 4 日 開催場所：新大阪ブリックビル（大阪府）</p> <p>オ. 中国・四国ブロック 開催日：平成 28 年 11 月 16 日 開催場所：岡山コンベンションセンター（岡山県）</p> <p>カ. 九州・沖縄ブロック 開催日：平成 28 年 11 月 17 日 開催場所：ホテルセントラーザ博多（福岡県）</p> <p>議題（全ブロック共通） ア.ものづくりマイスター関連 第 2 四半期までの認定状況、活動状況等</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>イ. センターにおける事業実施状況及び情報提供 センター事業進捗状況、ブロックイベント、IT マスター稼働に備えた実施要領の改訂、技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換に係る情報提供、センター作成物、マイスター事例発表及び意見交換会、会計実地検査対応等</p> <p>ウ. その他 ものづくりマイスターの活動率、認定申請及び活動報告に係る注意喚起等</p> <p>2. 活動目標の進捗管理 事業全体の活動目標が確実に達成されるよう、コーナーは、マイスターの活動人日等、進捗状況について、四半期ごとの達成状況をセンター宛て報告した。 センターは、達成状況の芳しくないコーナーに対して、文書、電話等でヒアリングを行い、目標達成に向けた業務指導を実施した。</p> <p>3. 業務に関する質疑・要望等 コーナーから寄せられた41の質疑・要望等について、委託元である厚生労働省に確認の上、センターから回答を行った。 また、厚生労働省からの指示、通知等について、窓口となってその都度コーナー宛てに情報提供した。</p>
<p>カ その他（当初実施計画になかったが実施したもの）</p>	<p>1. ITマスター認定基準の策定及びITマスターの認定 IT マスター認定基準策定委員会及び IT マスター認定委員会を開催し、認定基準を策定するとともに、2 職種 8 名の IT マスターを認定した。 また、IT マスター広報用のパンフレットについて、内容を厚生労働省と協議し 13,000 部を作成、2 月上旬に各コーナー宛て配布した。</p>
<p>3 関係業種団体の技能競技大会等に対する協力</p>	<p>1. 会員団体等の実施する行事に対する後援等 職業能力の開発及び向上の促進に寄与するため、会員団体等の主催する技能競技大会等、34回〔34回〕への後援又は審査員の派遣等を行った。</p> <p>2. 会員団体等の実施する技能競技大会等における表彰 技能者の意気高揚を促し技能尊重気運の醸成を図るため、会員団体等の実施する技能競技大会等、延べ17回〔17回〕の入賞者に対して、会長賞又は理事長賞を授与した。</p>

第4 国際協力の推進

事 項	実 施 状 況
<p>1 技能評価システム移 転促進事業</p> <p>ア 2級相当検定員養 成研修</p> <p>イ 3級相当検定員養 成研修</p>	<p>アジアの開発途上国の技能評価システムの構築、整備・拡充を支援するため、日本の技能検定に関するノウハウ等を活用した以下の技能評価システム移転促進事業を実施した。</p> <p>インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーを対象に2級相当の検定員養成研修を実施した。</p> <p>1. 技法研修(基準・問題作成等担当者研修)： 計8名</p> <p>(1) 国内(千葉) 8名(ベトナム2, カンボジア2, ラオス2, ミャンマー2)</p> <p>平成28年8月29～9月5日 シーケンス制御</p> <p>(2) タイ 8名</p> <p>平成29年1月24日～26日 旋盤</p> <p>2. 技能評価者講習(試験・採点等担当者研修)： 計54名</p> <p>(1) インドネシア 16名</p> <p>平成28年11月21日～22日 フライス盤 9名</p> <p>平成29年2月20日～20日 金属プレス加工 7名</p> <p>(2) タイ 8名</p> <p>平成29年1月26日～27日 旋盤</p> <p>(3) ベトナム 25名</p> <p>平成28年9月26日～29日 機械検査 8名</p> <p>平成28年11月14日～16日 旋盤 12名</p> <p>平成28年12月13日～15日 情報配線施工 5名</p> <p>(4) カンボジア 6名</p> <p>平成28年12月19日～21日 情報配線施工</p> <p>ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インドを対象に、3級相当の検定員養成研修を実施した。</p> <p>1. 技法研修(基準・問題作成等担当者研修)： 計16名</p> <p>(1) ベトナム 5名</p> <p>平成29年1月16日～18日 フライス盤</p> <p>(2) ラオス 11名</p> <p>平成28年10月13日～16日 左官</p> <p>2. 技能評価者講習(試験・採点等担当者研修)： 計47名</p> <p>(1) 国内(東京) 2名(カンボジア)</p> <p>平成28年7月17日～26日 配電盤・制御盤組立て</p> <p>(2) カンボジア 7名</p> <p>平成28年11月21日～23日 配電盤・制御盤組立て</p> <p>(3) ラオス 10名</p> <p>平成29年1月23日～25日 左官</p>

事 項	実 施 状 況
ウ 現地技能評価トライアル・普及活動	<p>(4) ミャンマー 20名 平成28年10月18日～21日 旋盤 10名 平成28年11月9日～11日 電子機器組立て 10名</p> <p>(5) インド 8名 平成28年12月7日～10日日 電子機器組立て</p> <p>1. 現地技能評価トライアル 上記ア、イの研修で育成された担当者が、現地政府機関の技能評価制度担当者とも連携し、日本からの派遣指導者による技術的指導のもと、現地で技能評価のトライアルを7か国(インドネシア、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、インド)にて随時、現地協力企業の事業所や職業教育訓練機関にて実施した(計15回、参加者168名)。</p> <p>(1) インドネシア 2回、26名 (2) タイ 1回、3名 (3) ベトナム 6回、91名 (4) ラオス 1回、5名 (5) カンボジア 2回、17名 (6) ミャンマー 2回、16名 (7) インド 1回、10名</p>
エ 技能評価者の評価・認定	<p>インドネシア、ベトナムにおいて、現地関係機関、トライアル実施企業と連携を図りつつ、日本から派遣した専門家が、現地技能評価者20名について評価者としての能力を評価し、技能評価者の認定システムの普及を図った。</p>
オ 官民合同委員会の開催	<p>事業対象国7か国において、平成28年11月～29年2月に各国にて1回ずつ官民合同委員会を開催した。当該国における技能評価システムの整備状況や本事業の実施状況等を参加者で共有した上で、技能評価システムの導入や普及のための今後の具体的な取組を検討した。</p> <p>1. ミャンマー 平成28年11月18日 2. インド 平成28年12月16日 3. カンボジア 平成28年12月23日 4. ベトナム 平成29年1月19日 5. ラオス 平成29年1月30日 6. タイ 平成29年2月1日 7. インドネシア 平成29年2月24日</p>

第5 緊急人材育成・就職支援基金事業の実施

事 項	実 施 状 況
1 各種奨励金等の迅速かつ円滑な支給	<p>1. 若年者人材育成・定着支援奨励金関係業務（平成30年度まで）</p> <p>非正規雇用の若年者に正規雇用として雇い入れることを前提に訓練を実施した事業主に対する若年者人材育成・定着支援奨励金について、支給対象であると都道府県労働局長が認めた事業主に対し、協会に支給申請書到着後14日以内に奨励金の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年者人材育成・定着支援奨励金 4,530件 31億6,326万円 <p>2. 民間人材ビジネスの活用による労働市場の機能強化事業（平成29年度まで）</p> <p>労働市場のマッチング機能の強化を図るため、民間人材ビジネスを活用した若者・女性の就労支援を実施し、支給対象者であると厚生労働省職業安定局長が認めた事業主に対し、協会に支給申請書到着後14日以内に事業経費等を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介予定派遣活用型正社員就職応援事業費 26件 8億7,775万円 ・研修・職業紹介一体型再就職応援事業費 12件 7,441万円
2 支給業務以外の経過措置業務の実施	<p>1. 緊急人材育成支援事業（平成35年度まで）</p> <p>平成21年度から平成25年度に支援を開始した者に対する支援として、次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練・生活支援資金融資に係る保証経費の補助 9,357万円 <p>2. 長期失業者等支援事業（平成32年度まで）</p> <p>平成21年度中に支援を開始した者に対する支援として、次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職安定資金融資に係る保証経費の補助 492万円 <p>3. 民間人材ビジネスの活用による労働市場の機能強化事業（民間人材ビジネス実態把握事業）（平成27年度～平成28年度）</p> <p>民間人材ビジネスの活用・育成施策の企画立案、実施に資するとともに、広く一般の利活用に資するため、民間人材ビジネスの実態を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先 みずほ総合研究所 5,817万円
3 債権回収業務の実施	<p>1. 個別の債権毎に折衝状況等は、「債権管理簿の管理経緯」に確実に残し、今後の対応に活かした。また、「債権管理データベース」において、債権毎の返済状況及び状況分類を行うことにより債権管理を効率よく行った。</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>2. 緊急人材育成・就職支援基金事業に係る未収債権について、以下の内容を実施することにより、年間6,400万円を目標にして、回収を進めた。</p> <p>・回収金額 7,389万円</p> <p>(1)ア. 電話督促（原則として2週間に1度（月1回の夜間督促を含む）） 1,211件</p> <p>イ. 文書督促（年2回） 191件</p> <p>(2) 託業者の現地調査に基づく職員による直接面談（3ブロック程度） 委託業者 69件 協会職員 14件</p>

第6 広報出版・情報資料の提供

事 項	実 施 状 況
1 職業能力開発の推進のための広報活動	<p>技能検定をはじめとする、能力開発・能力評価関連事業の周知・広報のため、次の活動を行った。</p> <p>1. 当協会の事業内容等について、ホームページによる効果的な広報活動 ホームページ (http://www.javada.or.jp/) を当協会事業のポータルサイトとして、技能検定、コンピュータサービス技能評価試験、CADトレース技能審査、ビジネス・キャリア検定をはじめ、技能五輪大会等の各競技大会、職業能力評価基準、職業能力開発サービスセンター、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座検索システム、技能評価システム普及促進事業、若年技能者人材育成支援等について広報を実施した。 アクセス件数：2,313,164件 [2,322,077件]</p> <p>2. メールマガジンの配信 技能検定をはじめとする、当協会の能力開発・能力評価関連事業の広報活動を行うため、「JAVADA情報マガジン」を配信した。 全国版：12回 [12回]、全国特別版：14回 [11回]、都道府県版：53回 [63回]</p> <p>3. 新聞、月刊紙等の紙面を利用し、当協会の事業について広報活動を行った。 新聞：4回、月刊誌等：13回</p> <p>4. 他団体のHP、メルマガを利用した広報 (1) キャリア・コンサルティング協議会のHPに、当協会のセミナー情</p>

事 項	実 施 状 況																
2 職業能力開発・評価に関する出版物の発行	<p>報を掲載24回</p> <p>(2)他団体が発刊するメールマガジンに、当協会のセミナー情報を掲載10件</p> <p>5. 企業・団体等への事業周知活動 当協会の事業周知等を目的に、次の企業・団体を訪問した。 ・企業：6社 団体：32法人</p> <p>次の図書を新たに発刊又は増刷した。 (新刊)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. CADS ver2. 2</td> <td>2, 980部</td> </tr> <tr> <td>2. CADI ver2. 2</td> <td>3, 180部</td> </tr> <tr> <td>3. CADS&CADI ver2. 2解説書</td> <td>1, 080部</td> </tr> <tr> <td>4. CADトレース技能審査 平成27年度 試験問題集</td> <td>1, 150部</td> </tr> <tr> <td>5. 平成26・27年度 3級 技能検定試験問題集 (第1集)</td> <td>1, 100部</td> </tr> <tr> <td>(第2集)</td> <td>2, 200部</td> </tr> <tr> <td>6. 平成27年度 特級 技能検定試験問題集 (第1集)</td> <td>1, 500部</td> </tr> <tr> <td>(第2集)</td> <td>1, 200部</td> </tr> </table> <p>(増刷)</p> <p>7. キャリアシフトチェンジのためのワークショップ「教材セット」 1, 000部</p> <p>なお、当協会の著作物について、著作権使用許諾申請が149件あった。</p>	1. CADS ver2. 2	2, 980部	2. CADI ver2. 2	3, 180部	3. CADS&CADI ver2. 2解説書	1, 080部	4. CADトレース技能審査 平成27年度 試験問題集	1, 150部	5. 平成26・27年度 3級 技能検定試験問題集 (第1集)	1, 100部	(第2集)	2, 200部	6. 平成27年度 特級 技能検定試験問題集 (第1集)	1, 500部	(第2集)	1, 200部
1. CADS ver2. 2	2, 980部																
2. CADI ver2. 2	3, 180部																
3. CADS&CADI ver2. 2解説書	1, 080部																
4. CADトレース技能審査 平成27年度 試験問題集	1, 150部																
5. 平成26・27年度 3級 技能検定試験問題集 (第1集)	1, 100部																
(第2集)	2, 200部																
6. 平成27年度 特級 技能検定試験問題集 (第1集)	1, 500部																
(第2集)	1, 200部																
3 ホームページを活用したバナー広告の掲載	<p>年間のアクセス件数230万件を超える当協会ホームページの有効活用を図り、6企業・団体のバナー広告を掲載した。</p>																

第7 会務等

事 項	実 施 状 況												
1 会員及び役員	<p>1. 会員</p> <p>平成29年3月31日現在における会員は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>都道府県協会会員</td> <td>47</td> <td>(47)</td> </tr> <tr> <td>団 体 会 員</td> <td>237</td> <td>(237)</td> </tr> <tr> <td>企 業 会 員</td> <td>71</td> <td>(72)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>355</td> <td>(356)</td> </tr> </table> <p>注 () 内は、平成28年3月31日現在の会員数である。</p>	都道府県協会会員	47	(47)	団 体 会 員	237	(237)	企 業 会 員	71	(72)	計	355	(356)
都道府県協会会員	47	(47)											
団 体 会 員	237	(237)											
企 業 会 員	71	(72)											
計	355	(356)											

事 項	実 施 状 況																
2 各種会議の開催	<p>2. 役員</p> <p>平成29年3月31日現在における役員は、次のとおりである。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr><td>会 長</td><td>1名</td></tr> <tr><td>副 会 長</td><td>2名</td></tr> <tr><td>理 事 長</td><td>1名</td></tr> <tr><td>常務理事</td><td>1名</td></tr> <tr><td>理 事</td><td>30名(副会長、常務理事を除く)</td></tr> <tr><td>監 事</td><td>2名</td></tr> <tr><td colspan="2"><hr/></td></tr> <tr><td>計</td><td>37名</td></tr> </table> <p>1. 総会・理事会</p> <p>(1) 第52回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成28年6月15日</p> <p>イ. 場 所：中野サンプラザ（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：理事会構成人員35名中35名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>オ. 議事次第</p> <p>（ア）議決事項</p> <p>第1号議案 平成27年度事業報告（案）に関する件</p> <p>第2号議案 平成27年度収支決算（案）に関する件</p> <p>第3号議案 平成28年度収支予算変更（案）に関する件</p> <p>第4号議案 役員を選任（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>（イ）報告事項</p> <p>・会員の加入について</p> <p>(2) 第37回通常総会</p> <p>ア. 開 催 日：平成28年6月15日</p> <p>イ. 場 所：中野サンプラザ（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：会員総数356名中288名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>オ. 議事次第</p> <p>（ア）議決事項</p> <p>第1号議案 平成27年度事業報告（案）に関する件</p> <p>第2号議案 平成27年度収支決算（案）に関する件</p> <p>第3号議案 平成28年度事業計画に関する件</p> <p>第4号議案 平成28年度収支予算変更（案）に関する件</p> <p>第5号議案 役員を選任（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p>	会 長	1名	副 会 長	2名	理 事 長	1名	常務理事	1名	理 事	30名(副会長、常務理事を除く)	監 事	2名	<hr/>		計	37名
会 長	1名																
副 会 長	2名																
理 事 長	1名																
常務理事	1名																
理 事	30名(副会長、常務理事を除く)																
監 事	2名																
<hr/>																	
計	37名																

事 項	実 施 状 況
<p>3 中央協会主催ブロック会議等</p>	<p>(イ)報告事項 ・緊急人材育成・就職支援基金事業（特別会計）に係る平成27年度収支予算の変更について</p> <p>(3)第53回理事会 ア.開 催 日：平成28年6月15日 イ.場 所：中野サンプラザ（東京都） ウ.出 席 者：理事会構成人員35名中35名（含委任状） エ.議 長：会長 釜 和明 オ.議事次第</p> <p>(ア)議決事項 第1号議案 副会長、常務理事の指名に関する件 第2号議案 参与の委嘱に関する件 第3号議案 参議の選任（案）に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>(4)第54回理事会 ア.開 催 日：平成29年3月15日 イ.場 所：中野サンプラザ（東京都） ウ.出 席 者：理事会構成人員35名中34名（含委任状） エ.議 長：会長 釜 和明 オ.議事次第</p> <p>(ア)議決事項 第1号議案 平成29年度事業計画（案）に関する件 第2号議案 平成29年度収支予算（案）に関する件 上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p>2.第38回参与会議 (1)開 催 日：平成29年2月23日 (2)場 所：AP西新宿（東京都） (3)座 長：今野 浩一郎 氏 (4)次 第：平成28年度主要事業業務実施状況について</p> <p>中央協会と都道府県協会とが一体となり事業を推進していくため、事業全般の諸課題等について、都道府県協会の意向・要望等に係る意見交換や情報提供等を行った。</p> <p>1.九都道府県職業能力開発協会連絡協議会 (1)第1回 平成28年5月16日（東京都新宿区）</p>

事 項	実 施 状 況
<p>4 都道府県協会主催ブロック別会議等</p>	<p>(2) 第2回 平成28年12月20日（東京都新宿区）</p> <p>2. ブロック会議</p> <p>(1) 北海道・東北ブロック 平成29年1月20日（宮城県仙台市）</p> <p>(2) 関東・甲信越ブロック 平成29年2月6日（東京都新宿区）</p> <p>(3) 東海・北陸ブロック 平成29年1月25日（愛知県名古屋市）</p> <p>(4) 近畿ブロック 平成29年1月31日（大阪府大阪市）</p> <p>(5) 中国・四国ブロック 平成29年1月26日（岡山県岡山市）</p> <p>(6) 九州ブロック 平成29年2月1日（福岡県福岡市）</p> <p>都道府県協会との密接な連携のもとに業務を運営するため、都道府県協会主催のブロック別職業能力開発協会連絡会議に次のとおり当協会役員が出席し、意見交換を行った。</p> <p>1. 9都道府県連絡会 平成28年7月21日（神奈川県横浜市）</p> <p>2. ブロック別会議</p> <p>(1) 北海道・東北ブロック 平成28年10月6日～7日（北海道札幌市）</p> <p>(2) 関東・甲信越ブロック 平成28年9月20日～21日（千葉県千葉市）</p> <p>(3) 東海・北陸ブロック 平成28年9月27日（富山県富山市）</p> <p>(4) 近畿ブロック 平成28年7月29日（兵庫県神戸市）</p> <p>(5) 中国・四国ブロック 平成28年6月23日（愛媛県松山市）</p> <p>(6) 九州ブロック （前期）平成28年9月15日（鹿児島県鹿児島市） （後期）平成29年2月23日（佐賀県佐賀市）</p>

事 項	実 施 状 況
5 中央協会及び都道府県協会職員研修の実施	<p>協会職員の資質・能力の向上を図るため、次のとおり研修を実施した。</p> <p>1. 中央協会職員研修</p> <p>(1)内部統制、ハラスメント、情報セキュリティ研修</p> <p>ア. 開催日：平成29年1月5日、6日、10日（いずれか1日を受講）</p> <p>イ. 場 所：中央協会（東京都）</p> <p>ウ. 内 容：</p> <p>①内部統制の概要、具体的な活動等について</p> <p>②ハラスメントについて</p> <p>③情報セキュリティについて</p> <p>(2)管理職研修</p> <p>ア. 開催日：平成29年1月～3月（期間中2日間受講）</p> <p>イ. 場 所：外部研修機関（東京都）</p> <p>ウ. 内 容：人事評価の基本</p> <p>2. 都道府県協会職員研修</p> <p>(1)開催日：平成28年9月29日～30日</p> <p>(2)場 所：中央協会（東京都）</p> <p>(3)内 容：</p> <p>①経理関係</p> <p>②業務面における現状と課題等について</p>
6 コンプライアンス委員会の設置	<p>コンプライアンスの徹底を図るため、コンプライアンスに関する委員会（役職員で構成）を設置し、四半期毎に開催した。</p> <p>1. 第1回：平成28年7月19日</p> <p>2. 第2回：平成28年11月1日</p> <p>3. 第3回：平成29年1月24日</p> <p>（なお、前年度第4四半期分につき、平成28年5月10日に開催）</p>
7 会長表彰等	<p>職業能力の開発及び向上の促進を図り、技能者の意気高揚を促し技能尊重気運を醸成するため、「職業能力開発関係表彰式」を開催し、①職業能力開発事業関係、②技能検定事業関係、③技能振興事業関係及び④国際協力事業関係の事業所、団体及び功労者に対し会長表彰を行った。</p> <p>また、職業訓練教材コンクールの入賞作品4点に対し会長賞を授与した。</p> <p>(1)開 催 日：平成28年11月22日</p> <p>(2)場 所：明治記念館（東京都）</p> <p>(3)被表彰者：件（202件）</p>

事 項	実 施 状 況				
8 職業訓練生災害傷害 保険制度の推進	区 分	職業能力 開発事業 関係	技能検定事業関係		技能振興 事業関係
			中 央	都道府県	
	事業所及び団体	1 [1]	6 [6]	25 [23]	1 [1]
	功 労 者	28 [24]	20 [20]	110 [119]	11 [10]
	区 分	国際協力 事業関係			
			事業所及び団体	0 [0]	
	功 労 者	0 [1]			
	<p>職業訓練施設に在籍する訓練生の訓練中又は通校途中の傷害事故に対する保険制度を次のとおり実施した。</p>				
	区 分	公 共	認 定	合 計	
	加 入 者	51,026名 [52,815名]	968名 [992名]	51,994名 [53,807名]	
	支給件数	934件 [950件] 【0件 [1件]】	23件 [17件] 【0件 [0件]】	957件 [967件] 【0件 [1件]】	
	<p>(注) 支給件数欄中の【 】内の数値は、死亡事故に係る支給件数で内数である。</p>				